

# 宮城県感染症発生動向調査情報

平成29年3月23日発行

— 2017.3.13～2017.3.19—第11週—

## 1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							宮 城 県 (含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第8週	第9週	第10週	第11週
水痘	4 0.80	5 0.50	7 1.40	1 0.50	1 0.33	3 0.60		13 0.48	34 0.58	310	レ	○	レ	○
流行性耳下腺炎	1 0.20	7 0.70	1 0.20					3 0.11	12 0.20	126				
百日咳									0 0	1				
感染性胃腸炎	30 6.00	47 4.70	4 0.80	8 4.00	7 2.33	1 0.20		138 5.11	235 3.98	2,276	◎	◎	◎	◎
手足口病									0 0.00	11				
伝染性紅斑									0 0.00	23				
突発性発しん	3 0.60	3 0.30	3 0.60	1 0.50	2 0.67	1 0.20	2 1.00	12 0.44	27 0.46	284	○	○	○	○
ヘルパンギーナ									0 0.00	0				
インフルエンザ	147 18.38	122 8.13	102 12.75	38 12.67	87 17.40	193 24.13	22 5.50	414 9.41	1125 11.84	22,875	◎	◎	◎	◎
咽頭結膜熱	3 0.60	6 0.60			1 0.33	1 0.20		21 0.78	32 0.54	178			○	○
流行性角結膜炎		1 0.33						1 0.17	2 0.17	23				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	45 9.00	25 2.50	4 0.80		2 0.67	25 5.00	11 5.50	36 1.33	148 2.51	1,934	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0	2				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎							1 1.00	2 0.40	3 0.25	71				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症								7 0.26	7 0.12	94				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)								5 1.00	5 0.41	12				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	9	1			1			2		◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○: 発生または流行について、今後の情報に留意 レ: 発生が少なくなっている傾向			
	川崎病													
	不明発疹症								2					

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 14例

## 2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

仙南管内 女性1名  
登米管内 女性1名  
気仙沼管内 男性1名  
仙台管内 女性1名

3類感染症: 腸チフス

仙南管内 男性1名

4類感染症: 報告なし

5類感染症: 梅毒

塩釜管内 男性1名  
麻しん  
大崎管内 女性1名  
侵襲性肺炎球菌感染症  
仙台管内 女性1名

### 【定点把握対象疾患】

[インフルエンザ]

仙南、大崎、登米、石巻管内で警報継続中  
栗原管内で注意報継続中

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]

仙南、石巻管内で警報継続中

## 【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎患者より

塩釜管内 第9週採取分 A群ロタウイルス 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定	中 間 報 告	
	第8週採取分 (2.20～2.26)	第9週採取分 (2.27～3.5)	第10週採取分 (3.6～3.12)
インフルエンザウイルスA(H3)	4件	5件	8件
インフルエンザウイルスB	1件	3件	1件
Aデングウイルス	9件	4件	6件
単純ヘルペスウイルス	0件	1件	0件
パラインフルエンザウイルス	0件	1件	0件

## 4. 今週のコメント

### 【麻しん】

今週、大崎管内の医療機関より麻しん患者の報告がありました。麻しんは麻しんウイルスの感染により起こります。ウイルスに感染すると10～12日間の潜伏期間を経て発症し、初期症状は発熱、咳、鼻水等一般の風邪様症状を示します。この症状が数日続き、口の中にコブリンク斑が現れます。発熱は38℃以上の高熱となり、その後体に発疹が現れます。麻しんは最も感染しやすいウイルスの一つとされ、手洗いやマスクのみの一般的な予防法では防ぐことはできません。有効な予防対策は、麻しんワクチンの接種によるもので、確実な予防には、2回のワクチン接種が必要とされています。近年、日本での報告例は海外からの輸入例が多くなっています。麻しんの流行地域への渡航を計画している場合、ワクチン接種歴や罹患歴が不明な方はワクチン接種を検討し、感染予防をこころがけてください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228

FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

